

公表

放課後等デイサービス

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援室そらま芽		公表日		令和 7 年 9 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容により机を移動させるなど十分なスペースを作るようにしている。	誰もが安心して安全に過ごせることを第一に考えていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	現状でも良いが、荷物置き場を工夫して子どもたちが管理しやすいようにしたい。	必要に応じて都度改善し、子どもたちが動きやすいように工夫していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	学習室、活動室と分けた空間がある為、環境調整ができています。	活動しやすい環境を作っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	職員の休憩室や事務室も個室として使えるようになっていく。	利用者の子どもの様子やその時々状況に応じて空間をうまく活用していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	都度報告し連絡し合える体制ができています。	今後も職員間の連携、連絡の共有などは大切にしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者がよくわからない。	法人事務局で評価していることや事案により第三者委員会を立ち上げメンバーを選出することなどを職員にも周知し、業務改善につなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に1回、合同勉強会が行われている	現状を踏まえ、理解した支援が行えるようたかのこころクリニックとの合同勉強会や様々な研修会に参加できる体制作りをする。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		独自の用紙、記録で行っている現状を継続し、不備、不都合を感じるようであれば標準化されたものを用いて確認する。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	5領域を踏まえて活動内容を話し合い、連携を図り、チームでの立案が行えている。	職員のそれぞれの視点をプログラムに反映させていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	翌日支援開始前の打ち合わせ時に情報共有を行っている。	職員全員が集まりやすい時間に、振り返りや打ち合わせ等の情報共有を大切にする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日個別で記録している。	日々の記録を大切にし、支援につなげる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	つくしん房とはできている。	必要に応じて情報共有、相互理解に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	必要であれば提供する体制である。	必要に応じて提供する体制にあることを職員にも周知する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	大口町事業所連絡会に参加	さまざまな情報、研修などに出かけた職員から報告を受けて知る機会を作る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	地域の公園を利用する際に遊ぶ機会があれば交流するが、児童クラブ等の交流はない。 大口西児童センターと情報交換を行っている。	事業所内での活動プログラムを第一に活動しているところがあるため、利用者のニーズに合わせて必要であれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	機会があれば出席する。	広く見識を広げる意味でも、機会があれば様々な職員が出席できる体制を作る。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	法人内クリニック（たかのごころクリニック）への相談を推奨している。 地域から発信された情報を掲示している。	知り得た情報を掲示するなど、広く周知するよう努める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	運営規定などいつでも手に取って見ていただけるように公表しているが、見ていない方がいないので、周知が足りないのではないのか。	運営規定などは分かりやすく掲示するように工夫する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	きょうだい同士の交流の機会は支援していない。親の会は提供しているが、参加される方が少ない。今後も参加しやすい形で検討していく必要がある。	親御さんや家族、きょうだいの方も参加しやすいかたちを検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	話はすぐに報告して共有する体制にあるが、対応・改善が迅速かどうか。	初動、対応は迅速にしていこう心がける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	障がい特性を理解するには、学び続けることが大切だと思う。	今後も勉強会、研修会などで特性理解、支援のあり方などを考えていくようにする。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	地域住民の招待は、個人情報の関係で難しいと考える。	地域の中のひとりとして生活していることを職員が意識し、子どもたちと関わる中で感謝の思いや地域とのつながりを伝えていくようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	予防接種までは把握していない	健康管理調査などは年に一度行い、健康で安全に過ごせるように努める。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	該当児がいらないが、医師の指示に基づいて対応する体制にはある	クッキング、調理実習などをする際はアレルギーチェックや健康管理をご家族と共有する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		安全計画の策定、研修などを計画して行っているが、常に見直しが必要であり不十分と考えている職員の意見を反映させていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	3	2		ご家族への周知をしっかりと行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		重大事案がある場合は迅速に、虐待防止法を招集し、対応改善等を検討する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		